

## はじめに

国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、2015年1月に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を策定し、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現をめざした総合的な施策の推進について示しています。

高齢社会の進展に伴い、認知症高齢者の数の推計は、2025年には約700万人に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症になることが見込まれております。

藤沢市におきましても、2020年1月1日時点で、高齢者人口は106,375人、高齢化率は24.4%となっています。介護保険認定調査の「認知症高齢者の日常生活自立度」によりますと、認知症があると認められた高齢者の数は2017年9月末時点で10,183人と毎年増加傾向にあります。

藤沢市保健所におきましても、ご家族や関係機関の方から、受入れ医療機関や相談窓口に関するお問い合わせや認知症の方の対応についてのご相談をいただくことが増加しています。

また、テレビやインターネットでの情報が氾濫するなかで、ご本人やご家族が「認知症」や「軽度認知障がい（MC I）」の不安を感じ、認知症のスクリーニングテストや相談を希望される方が多くなっています。

そこで、認知症に関する正しい知識や治療に関する情報を地域へ発信し、早い時期に安心して医療機関を受診していただくことを目的として、平成25年度から2年毎に市内の医療機関に調査を実施し、『藤沢市認知症受入れ医療機関情報』を作成しております。

今回の調査では、224か所の医療機関にご協力をいただき、診療情報の公開可と回答をいただいた120か所の医療機関の情報をまとめております。

また、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）第7期計画策定の7つの柱のひとつとして、「若年性認知症施策の強化」が明記されたことから、その診療に関する項目を引き続き掲載しております。

認知症の不安がある高齢者やご家族の方、相談を受ける機会が多い民生委員の方、いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）、介護保険事業所の関係者など、地域の皆さまの相談にご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、大変お忙しい中、調査にご協力いただいた藤沢市医師会の先生方をはじめとする関係機関の皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申しあげます。

2020年（令和2年）3月

藤沢市保健所

所長 阿南 弥生子